

其十、小「スタンダー」列島「ナモシール」島

1. 主要集結部隊

第四十八師團（輝又は堅又は海八九四〇）戦車第四聯隊（輝六五八）野
戰重砲兵第十二大隊（輝又は治）迫撃第五大隊自衛隊第二十八聯隊
又は治一六二四）船艇工兵第十三聯隊（威又は輝六一六一）
其他航空船艇、自動車部隊等

海軍

第三艦隊

2. 集結地

「スンバワ」島「スンバワ」附近「ロボマタ」島（一〇、〇三八名）
同島「ブランヤブ」一、〇〇〇名「キミン」島（二〇〇名）

其他治安維持民政委員として「メンボ」一、〇〇〇名「近」一、〇〇〇

〇名西「スンバワ」一、〇〇〇名「近」一、〇〇〇名集結し

3. 集結人員

陸軍 第二五、〇一二（軍人二四、五七一 軍醫四四一）

海軍 一、二一〇

4. 歸還時期 五、六月中

5. 治安状況 大なる不安なし

6. 給養状況

米三四〇瓦乾パン二二〇瓦罐詰肉一四〇瓦外二、〇〇〇「カロリー」程
度にして概ね良好なり

部隊は現地自活に努力中

7. 被服状況

概ね良好 大体個人整備を有しあり

8. 衛生状況

概して良好なり

9. 其他

○集結部隊は大半農耕等現地自活に従事しあり
○聯合軍の使役等は大したものなきが如し

○第四十八師團には一部爪哇に集結しあるものあり
第十一、「アンボン」「サラム」島「アル」「クイ」「タニンバル」島

主要集結部隊

陸軍

第五師團（輝又）駐又は艦五一九一）主力（搜索五師團主力は「ソラン」
地区）野戦高射砲第四十四大隊（輝又）駐一二九五五）重砲第二十六聯
隊一隊（輝一六三一）船舶工兵第四、（輝又）駐六二七二）七、一隊
又は輝一〇六五一）二十（輝又）駐一六七一六）陸軍第十八野戦飛行場
設定隊（輝一五三二二）第九航空隊司令部（輝又）駐又は司九六〇
五）外

海軍

第二十五集結部隊

2. 集結地

「アンボン」「サラム」「モロタ」「モロタ」島の「キアマル」
半島地帯に「アム」「クイ」「クニ」「クニ」島の「クニ」島に

3. 集結人員

の「クイズラ」島及「ツロウ」島に集結
「サラム」島 陸軍 第一二、四六二 海軍 一一、〇六八
「アンボン」島 陸軍 約 五〇 海軍 約 八〇〇
「クイズラ」島 陸軍 九、五五三 海軍 八二九
及「ツロウ」島

4. 歸還時期

六月、十月

5. 治安状況

不安なし

6. 給養状況

米二五〇百乾「パン」ハ〇五廿四〇百外にして熱量大体一、五〇〇
「カ」ロリ「」程度なり
尙七月（現地自活糧食期）分迄の喰糧用として濠洲島より一、七〇〇「カ
ロリ」の半定食に相當するものを受領しあり

7. 被服状況

補給柱の爲更新なく被服不良なり大部は上陸地にて更新を要す

8. 衛生狀況

一般に良好ならず短期急送なる移送、宿營施設の不備、自活作業等の爲
一般に疲勞の累積となり患者の増加の傾向にあり

主要疾患は「マラリヤ」「アメーバ」赤痢、瘧疾なり

9. 其他

○「アル」諸島（歩兵第二十一聯隊）七六〇名「カイ」諸島（歩兵第四
十二聯隊歩兵第十一聯隊野砲兵第五聯隊）七四五〇名「タニンバル」
諸島（歩兵第二十一聯隊及歩兵第四十二聯隊各一々大隊）二、一二〇
名が「カイツラ」島に集結せり

○「カイツラ」島に集結せり「カイツラ」より陸軍の豫定集結部隊は聯
合軍の作業等殆んどを以て豫定集結せり

10. 主要集結部隊

第三十五聯隊（輝）又砲兵第二九三五（海軍）第二聯隊（輝）又海軍三一八
九（海軍）第二聯隊全編（輝）又砲兵一六四〇〇（海軍）第一聯隊本部（輝）

一四一（遊撃第五）（輝）一六三二〇（輝）二一四二（輝）九（輝）五七六三（輝）

十（輝）一二五〇九（中隊）搜索第五聯隊（輝）又は堅又は艦五二七七（主力）

電信第二十四聯隊（輝）又は堅一〇三一八（獨立）工兵第十五聯隊（輝）又は

堅八一二二五（第二軍）砲兵兵隊（輝）又は勢一六四〇一（自動車廠）（輝）又

は勢一六四〇二（貨物廠）（輝）又は勢一六四〇三（第十四師團海上輸送隊）

（輝）又は勢一六一四七（第三十六師團海上輸送隊）（輝）又は勢六一四四（

其他自動車、航空部隊等

2. 集結地 「ソロン」地盤及「マンクワリ」地盤

3. 集結人員

「ソロン」地盤陸軍七、七一七（重八六〇七）三軍團二二三八其他（

海軍一、〇〇四（重八六〇七）七軍團三九七（

陸軍部隊内講第三十五師團二、八二九海上機動第二旅團一、二一一航空

三二二六其他一、九四五

「マンクワリ」地盤

降軍五、二七六（軍人四、六三五軍艦一六三其他）
海軍 八八二（軍人 五四四軍艦一九二其他）

尚右の外「ムン」支隊未集結人員陸軍六〇〇あり

4 歸還時期 五月以降六、七月中

5 治安状況 大なる不安なし

6 給養状況

「ソロン」地區 米一二〇五 甘藷四〇〇 豆外にして熱量一、二〇〇「カ

ロリー」程度

「マンクワリ」地區 甘藷一、八〇〇 豆外にして一、五〇〇「カロリー」程

度兩地區共現地自活に努力しあり

尚終戦後「ヤレベス」より米、罐詰肉、砂糖、大豆、粉味噌粉油等を

補給せり

7 被服状況

「マインクワリ」地區 「ニューギニヤ」海軍中程艦隊も良好あり

「ソロン」地區 海軍長官をもち終戦後「ヤレベス」より一部補給し稍

々緩和せり

8 衛生状況

昨年十二月以降雨季に入るに従ひ衛生状況も逐次良好となりつつあり

雨季再来及主食の減少と共に再び悪化を豫想せらる

9 其他

○「ソロン」地區には終戦後西南部「ニューギニヤ」方面展開部隊が移

動せり即ち「カイマナ」より一、二五〇「フアタタ」より二八七

「ロカス」より八五一「バホ」より八四七名夫々「ソロン」地區に集

結しあり（尚一部主として患者に「ヤレベス」に移動しあり）

○「マンクワリ」には「ムミ」支隊一、二四四名集結の外「ピヤク」支

隊生存者九〇名「マンホル」支隊生存者七名集結しあり

○二十五年十二月四日「マンクワリ」より「サルミ」に使役隊要員一〇二

名を派遣し自下「ホーランチャ」に在り

其十三、「サルミ」地區

主要集結部隊

第三十六師團主力(輝又は雪三五二〇外)(海上輸送隊等を除く)(第五航空通信隊(輝又は雪九九四一)(第四航空隊(輝又は雪九三〇二))白城子陸軍飛行學校材料隊(輝又は雪九三〇八)(野戰高射砲隊第五十三大隊(輝又は雪五〇六三)(同六十六大隊(輝又は雪八三〇八)(野戰照空第四大隊(輝又は雪五〇六六)(輝五十一野戰道隊(輝五五九七)(第五十四兵站地隊本部(輝六〇三〇)(野戰隊第三十(輝又は雪七八五〇)(四十九(輝四〇一五)(七十一(輝又は雪一五五六〇)(七十三中隊(輝又は雪五八七一)(獨立自動車第二二二十八中隊(輝二八六五)(南洋軍六支隊(輝一二五〇三)(五連

2. 集結地

「サルミ」及其の附近「サマム」
「オホマヤ」
「サマム」
「マナムル」等

3. 集結人員

陸軍 三、五三三(車馬二、五五五) 五連(五車馬)
海軍 一、二六(車馬) 一連(車馬)
歩兵 六、五五(車馬)

5. 治安状況

住民少く不安なし

6. 給養状況

甘藷一、四〇〇(互其他にして熱量一、二〇〇「カロリー」程度)
終戦後「ヤレベス」より米、罐詰肉、砂糖、大豆、粉味噌粉巻油等を補給せり

7. 被服状況

程度不良なり「ヤレベス」より一部補給せり

8. 衛生状況

集結人員の大半は「マラリヤ」皮膚病に悩まされあり
衛生材料も殆んどなき爲最も苦慮しある状況なり

9. 其他

○二十年十二月五日使役隊として北關少將以下一三〇二名を「ホーランド」に派遣しあり本人員は「サルミ」集結人員に含み非ず尙歸還の際に「ホーランド」より歸還すべし

第三兩方各地ノ狀況（太平洋島嶼ヲ含ム）

前言

其ノ後ノ現地軍ヨリノ報告其他ヲ綜合スルニ依然各軍ハ聯合軍側ノ指示ニ基キ築結、内地歸還等概ネ順調ナル経過ヲ辿リ、ツツアルモノ如キモ南方就中馬來、蘭印西部「ニューギニヤ」「ビルマ」、南部佛印方面等ニ於テハ食糧及治安狀況ノ惡化、兵員ノ急激ナル衛生損耗、輸送ノ不如意等ニ基因シ復員將兵ノ狀況ハ必スシモ樂觀ヲ許ササルモノアリ

比島、東部「ニューギニヤ」太平洋島嶼方面ニアリテハ既ニ大部ハ内地ニ歸還復員中ニシテ大ナル憂慮ナカルヘシ

（一）シカゴ
ノ現在員

陸七三一七九 海二二〇〇 氏一一 計約七四三九〇

2 集結状況

「ムドン」地區——「森集團」（ビルマ方面軍）主力

「マルタバン」——「策集團」（A）

「タンド」——「昆集團」（A）

「タンド」——「昆集團」（B）

泰 沿 線 上ノ如ク軍ノ主力ハ「モールメン」兩邊地區ニ集結シ歸還準備

中ニシテ在舊邦人ノ大部ハ我軍ノ蘭賞撤退後「パンコック」及

「サイゴン」方面ニ避難シ該會社銀行其他ニ収容セラレアルモ

徹退途甲遺棄セルモノ相當ナル模様ナリ

3 給養衛生状況

給養ハ終戦前ヨリノ日本軍保有糧秣ニ依ルモノト英軍直接交付品

ニ依ルモノトアルモ日本軍保有糧秣ノ消耗ニヨリ逐次英軍依存ニ移

行中ニシテ漸次困難化ヲ豫想セラル（前者ニヨルモノ主食ハ勞務者米六八〇瓦、其他ハ五五〇瓦、野菜二八〇瓦鹽魚五〇瓦後者ニヨルモノ主食五〇〇瓦野菜四五〇瓦其他八〇瓦）尙
 尙現地自治ハ農作集結地域内ニ限定セラレアリテ給養上大ナル期待ヲ掛ケ得ス將兵ノ大部ハ「マラリヤ」患者ニシテ更ニ「アミール」亦痢疾氣患者等相當アルモノノ如ク食糧品ノ入手困難ニ伴ヒ榮養失調症續出シアルモノノ如シ

(二) 泰方面

1. 現在員

陸一六二九〇海一五五五氏兵一〇〇計一六二九〇（ビルマヨリノ引揚者多ク陸三三〇〇ビルマニ於テ召集解除トナリタル邦人三〇〇〇アリ）

2. 集結状況

軍ハ終結時ト大差ナク局地毎ニ部隊主力位直ニ集結シアリテ南泰方面ノ部隊ハ毎日約三〇〇名宛「レンカウ」地區ニ移送サレツツ

アリ

將來ハ更ニ「レンバン」島ニ移駐ノ豫定

后管人ハ「バンコック」市外三村ノ「バンフアナン」ニ款築セラレアリ

3. 給養、衛生状況

給養状況ハ不明ナルモ十二月現在主食ハ自給概不可能ナルカ如シ衛生状況ハ陸軍ハ一般ニ不良ニシテ治療品ノ如キモ陸軍六ヶ月分海軍一ヶ月分ヲ保有シアルモノノ如シ

(三) 佛印

1. 現在員
 北中部陸三三〇〇海一三〇氏三三〇計三六三〇
 南中部陸五八二〇海八一〇氏五三〇計六六三〇

2. 北、中部佛印ニ於テハ軍ハ「ハイフオン」ヲ中心トスル地區ニ兵力ヲ集結シ歸還準備中ナリ

在管邦人ハ總領事官等ノ下ニ九月中旬ヨリ「ハイフオン」東北二〇村「カンエン」ニ集結ス治安ハ陸軍ノ南部隊駐ニ伴ヒ十時中部

地區ニ於テ日感統化セルモ調停ニ依リ目下平靜化シアリ
安南人ハ一般ニ我ニ好感ヲ有シアリ

十二月二十六日英佛支蘭ノ協定ニ依リ北部佛印地區ニ遷駐シアリ
シ中國ニハ撤退スルコトナレリ糧食ハ口保米ヲ二月末頃迄有シアリ
3. 南部佛印ニ於テハ西貢ヲ中心トスル暹南軍(獨立運動ヲ目的トス
ル憲黨員ヲ主体トス)ノ暴動ハ英佛支蘭鎮壓セラレ目下平靜化
セルモノノ如シ

日本軍ハ一部武装解除セルモ主力ハ依然治安維持ニ従事シアリ南
方總軍ハ十二月一日以降「シンガポール」ニ移動セリ
居留民(ビルマ、泰方面ヨリノ引揚者ヲ含ム)ハ「サイゴン」ニ
集結シ其大部ハ押留所ニ收容セラレアリ糧食ハ從來最モ恵マレア
リタルモ前記越南獨立運動ニ伴ヒ漸次困難トナリ又日本軍ノ集積
保有量ハ相當ナルモ逐次聯合軍ノ管理ニ移リツツアリテ今後聯合
軍ヨリノ制限配給ヲ受クルニ至ルモノト豫慮セラル衛生狀況別ニ
大ナル憂慮ナツ

聯合軍ハ英第二〇師團ニシテ佛印ノ内政ニハ調停セス日本軍ノ處
理ヲ速急ニ行ヒ逐次撤退シツツアルモノノ如ク佛軍ハ元佛印軍ニ
シテ我軍ノ俘虜タリシ區海軍約四萬ト稱スルモ不詳ナリ

馬來方面

總人員

陸	一八六〇〇〇	十二月末迄ノ引揚者	三八一九
海	二八〇六七		五三
民	一三、三三七		三七六三

2. 昭南周邊

終戦ト共ニ兵力ヲ自主的ニ昭南及「ジオホール」地區ニ集結シ自
活態勢ノ確立、團結ノ強化ヲ圖リツツアリシモ九月四日聯合軍ト
ノ調印後聯合軍ヨリ急速馬來地區ニ更ニ十月初旬以後區海軍、一
般邦人ヲ含ミ約一四萬五千ヲ「レンバン」島ニ移駐ヲ命セラレ毎
日約一千名宛移動中ナリ
糧食ハ當初戦時定量ノ約半ケ年ヲ集積シアリシモ數次ノ移駐ニヨ

リ減少シ今後二乃至三ヶ月分ニシテ殊ニ「レンバン」島ハ無人島ニシテ野草ノ採取不能ノ密林不毛地帯多ク今後ノ給養ハ憂心ニ堪ヘサルモノアリ

十一月二十日現在約四萬五千ノ兵力移駐シアリテ全收容人員（日二十三万）ノ完了ハ三月頃ノ見込目下鋭意密林ヲ開拓中ナルモ既に榮養失調者一三ヲ出シアリ

向聯合軍ノ指示ニ依リ新ニ木下中將ノ統率スル南馬來軍司令部「レンバン」島ニ設置セラレ終戦後ノ責務ニ従事シアリ、現駐在兵中一部支那人ノ日本ハ襲撃等アリタルモ未ダ直接行動ニ因テズ馬來人ハ親日的ナルモ支那人ノ壓迫ヲ受ケツツアリ

3. 北部馬來
列車輸送ニ依リ逐次「レンガム」島邊ニ次テ逐次「レンバン」島ニ移駐シツツアリテ一月未ダ完了限定期ナリ

4. 「アンドン」島「ニコバル」島
現在員數一〇〇〇名六〇〇計約二〇〇〇ニシテ日本艦艇ヲ以テ十一月二日ヨリ輸送ヲ開始シ昨年中ニ「レンバン」島ニ集結スル豫定アリ

在島邦人三八名ニシテ「ホルブレア」ニ集結シアリ
今後「レンバン」島ニ移駐豫定ニシテ給養、衛生概ネ良好ナリ

蘭印、「スマトラ」方面
「ジャワ」

現在員數三三五〇海一七七六〇兵一〇〇三五計七一四五
英ノ一部ハ「バンドン」「ボゴール」「パタピヤ」地區ニ集結シ主力ハ聯合軍ニ協力治安維持ニ當リツツアルモ十一月中東部方面「スマラン」地區ノ治安ハ極メテ不良ナリシモ其後状況不明ナリ

適激ナル印度「ネシヤ」急進分子ハ獨立ノ爲ニハ手段ヲ選バズ蘭印ニ對シ攻撃スルハ勿論聯合軍トノ戦闘益々擴大シツツアリ十月末迄ニ於ケル我カ方ノ戦況有判明セルモノ五〇〇名ヲ突撃シアリ

向該方面ノ邦人ハ奮勇挺身兵皆刑務所ニ抑留セラレ囚人同様ノ生活ヲナシアリ

糧食ハ主食ニアリテハ西部ノミ數ヶ月分ノ目詰可能ナルモ中東部ハ貯藏皆無ニシテ之カ將來ハ極メテ憂慮スヘキ状況ニアリ

十二月六日聯合島ノ指示ニヨリ日本人ノ(邦人ヲ含ム)「ガラシ」島(マツラ島東方六〇哩)ニ移住ヲ命セラレアリ

2. 小「スマンダー」列島

現在員一八二〇海兵一四〇氏四四五計二二七八

第四八師團ノ主力約二万ハ「スマンズワ」島ニ集結完後余ハ「バリ」

「センボイ」「チモール」ニ在リ

「ジャバ」ニ於ケル獨立運動ノ影響ヲ受テ排日感情激發ノ傾向ニア

ルモ目下伝端ナル保存糧食ハ三月末頃迄原役ハ百信ニ似ル外ナシ

3. 「スマトラ」

現在員六三一一三九海兵〇九〇氏六三三〇計七〇一三〇

東カラ北東ニ「メタン」兩方(中部「バタン」地區)南部「パレ

ンパン」兩西地區)ノ三地區ニ集結シアリテ治安ハ「ジャバ」方ニ

ノ獨立運動激發ノ激化ニ伴ヒ本島全土ニ反映シ全島ニ於テ日本軍ニ

對スル襲撃被害及一級邦人傷害事件頻發シアリ、特に北部「アチエ

万圖」ニ於テハ十二月以高ノ暴徒ノ武器強奪ノ爲ノ日本軍襲撃續發中

ニシテ其後ノ状況不明ナルモ糧食事情ノ逼迫ト共ニ樂艦ヲ許ササル
モノト観ラル「ボルネオ」「セレベス」方面(連絡社絶情況不明ナ
ルモ以下主トシテ歸還セリ邦人宣教師ノ言フコト)

(4) 「ボルネ」

1. 現在員 一六一一六〇海一七〇〇九氏七一九五計四五七六四

2. 南部「ボルネオ」方面ノ軍隊及邦人ハ左ノニヶ所ニ集結シ歸還準備

中ナリ

「サマリンダー」 約七、〇〇〇人

「バリツグハハン」 約五、〇〇〇人

3. 「サマリンダー」方面ハ濠軍進駐シアラス數個ノ乘組「キヤンプ」生
活ヲ以テ自給自足ヲ爲シアリ糧食ハ主食五乃至六月頃迄ノ分ヲ所有
スルモ副食物不足ニシテ濠軍ヨリ時々支給ヲ受ケ或ハ現住民トノ物
々交換等ニ依リ補足シアリ

治安ハ比較的平穩ナルモ今後漸次物々交換等不可能トナルヲ豫想セ
ラレ殊ニ蘭軍カ濠軍ト交替進駐セハ一般ニ困難ヲ來スモノト観ラル

4 「パリツクババン」方面ハ戦場ニシテ廢墟ト化シ慘澹タル有様ニシテ六一七ヶ所ニ分散「キヤンプ」生活ヲ爲シ相互ノ連絡不可能ナルモ給與ハ全部豫軍ヨリ支給ヲ受ケ一日一、六〇〇「カロリー」程度ノ榮養ヲ採リ野菜、海藻類等ニ依リ補足シアリ
 (豫軍給養船、夕共別營盤バン副食若干)
 衛生状況ハ終戦當初病人約二、〇〇〇人程度ニシテソノ後食糧ノ不足ニ加フルニ較峻ヲ没收セラレ一週間ニ五人程度死亡シツツアリ
 尙自下二期ニシテ病人續出中ノ状況ナリ
 現任氏ノ動向ニ關シテハ不穩ナルヲ認メス目下ノ處「コソ」泥種度アリ但シ「ボンテイアナク」方面ノ任氏ハ邦人ノ現住民 殺ニ起因シ終戦前ヨリ不穩ニシテ邦人ハ全部戦前ニ東方ニ避難セリ
 5 北部「ボルネオ」方面ノ軍隊及邦人ハ「ゼツセルト」一地區約一〇〇〇〇「グチン」及「パウ」地區約一〇〇〇〇「ラダアン」島地區日一五〇〇集結收容セラレアリ

(2) 「セレベス」

1 現在員 陸二一三七〇海軍二四〇民六一八〇計三一七九〇
 在「ランテバオ」ノ第二軍司令部及陸海軍兵方約二三、〇〇〇人ハ昨年末迄ニ「マリンプン」(「マカツサル」北方二〇〇料「ピンラン」西方地區)ニ集結中ニシテ別ニ「ニユギニア」方面ヨリ患者約三、〇〇〇人移動集中ノ豫定ナリ
 目下先遣隊ヲ以テ豫軍ノ指令スル廣正面ノ收容地域ニ自給自活スヘク收容諸施設、農園等ノ開墾ニ努力中ナリ
 2 糧食ハ保有主食概ネ六月頃迄(九、十月頃迄ノ喰延シヲ考慮中)副食物不足シアルモ主トシテ野草ヲ食ヘ時々魚類ヲ入手シアリ
 各人一日約三二〇瓦程度ニシテ又開墾中ノ農園モ約九〇町歩程度ニシテ到底二萬餘人ヲ給シ得ス又豫軍ノ補助皆無ニシテ目下ノ糧食糧問題カ第一ノ不安ナリ
 3 衛生状況ハ患者三〇〇十六〇〇人程度ニシテ醫療品ハ豊富ナラサルモ大ナル心配ナキモノト觀ラル但シ長距離ノ移駐並ニ家屋